



## 「障害年金のこと」アンケート結果の報告

2024年1月25日(木)に開催いたしました表題セミナーのアンケート結果をご報告申し上げます。当日は、オンライン視聴参加者152名、96名の方々からアンケートの回答を頂きました(回答率63.2%)。

頂きましたコメントは、数が多いため重複する内容をまとめたり、一部抜粋したりして紹介しています。なお、判読が難しいもの、表記が適切でないものも含め、原則そのまま紹介しています。

たくさんのコメントを頂きましたこと、感謝申し上げます。

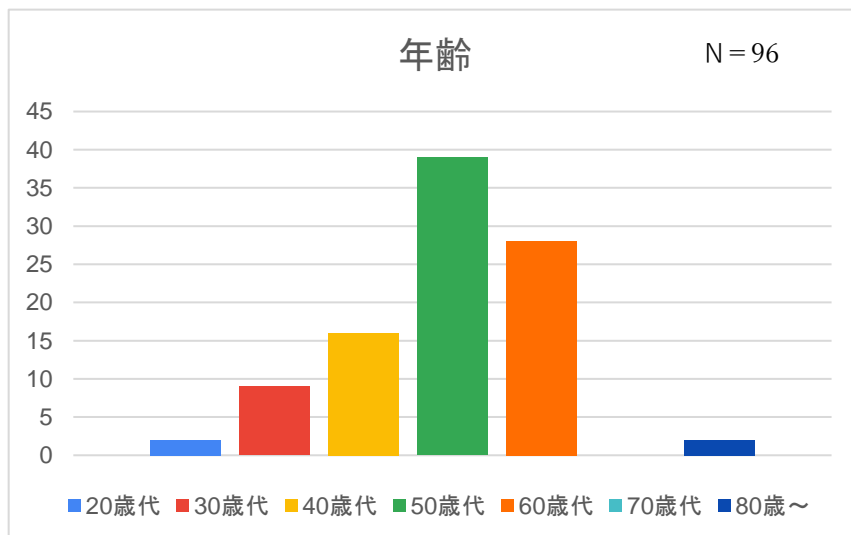
### 1. お住いの都道府県を教えてください

県名	人数	県名	人数	県名	人数
東京都	19	大分県	2	佐賀県	1
神奈川県	15	宮崎県	2	奈良県	1
京都府	7	熊本県	2	群馬県	1
兵庫県	7	北海道	2	長崎県	1
愛知県	7	徳島県	1	宮城県	1
大阪府	6	山口県	1	和歌山県	1
埼玉県	5	広島県	1	千葉県	1
愛媛県	3	高知県	1	岩手県	1
福岡県	3	福井県	1	静岡県	1
長野県	2				

※参加者のいない都道府県は省略しています。

### 2. 年代を教えてください

年代	人数
20歳代	2
30歳代	9
40歳代	16
50歳代	39
60歳代	28
70歳代	0
80歳～	2



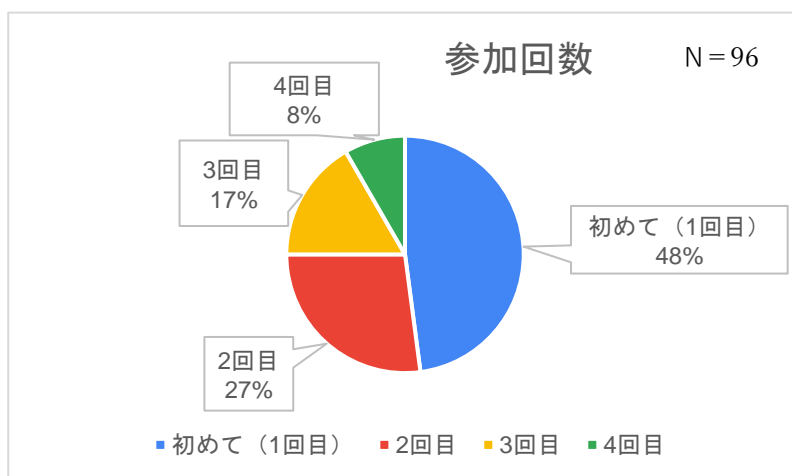
### 3. お立場を教えてください（複数回答可）

お立場	人数	お立場	人数
患者（多発性骨髄腫）	14	医療従事者（医師）	2
患者（急性骨髄性白血病）	8	医療従事者（看護師）	16
患者（リンパ腫）	6	医療従事者（その他）	16
患者（急性リンパ性白血病）	3	社会保険労務士	5
患者（慢性骨髄性白血病）	4	患者家族（遺族含む）	10
患者（慢性リンパ性白血病）	2		
患者（血液疾患以外）	6		

その他詳細：患者（その他の血液疾患）、相談支援員、MSW、支援者、患者会、がん患者の友人

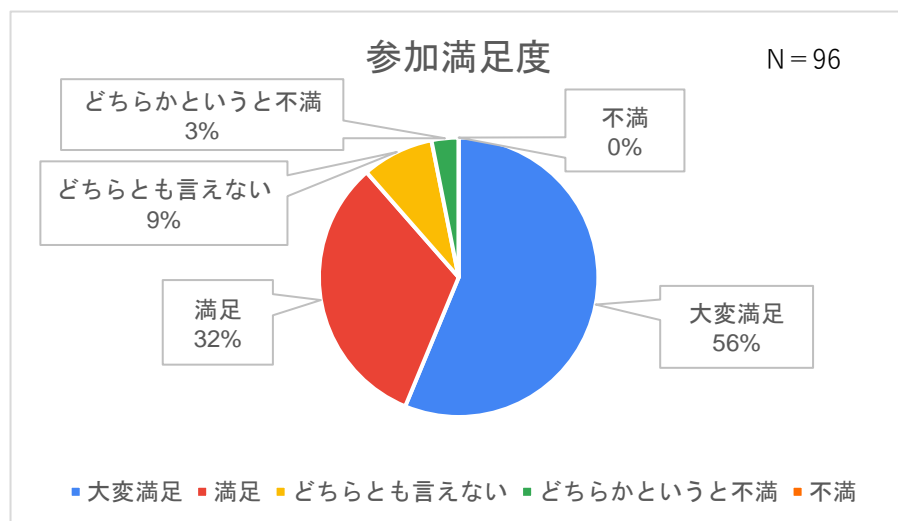
### 4. 知っとかナイトの参加は何回目ですか？

参加回数	人数
初めて（1回目）	46
2回目	26
3回目	16
4回目	8



### 5. 知っとかナイト「障害年金のこと」に参加して、最も当てはまるものを選択してください

満足度	人数
大変満足	54
満足	31
どちらとも言えない	8
どちらかというと不満	3
不満	0



### 6. 上記で回答した理由を教えてください

- ・ 障害年金については全く知らなかったので、大変参考になりました。(11)
- ・ とてもわかりやすかった(6)
- ・ 障害者年金の位置づけ、障害認定基準の理解が深まりました。(4)

- ・ 申請内容と申請が通るやり方等勉強になりました。(3)
- ・ 事例など実践に近いお話を伺うことができたので勉強になりました。(2)
- ・ 具体的な診断書の書き方や考え方が、分かりやすい解説で理解できた。(2)
- ・ 「医師」と「社労士」という異なった立場の専門家のお考えなどを伺えたので。
- ・ がんでの障害年金の認定の状況がつかめたから
- ・ とても難しい手続きをとるため理解するには時間が必要
- ・ なるほど!と思うこと、多々ありました。一例ですが、勝俣先生のおっしゃる「社労士さんにお願いをすると99%認定される」とのこと、つい、自分でなんとかならないかと相談されると担当窓口さんに聞きながら頑張ってみては?と言っていました。でも、これからは、この話をしてみたいと思います。
- ・ レジューメがない状態で、画面をあちこち動かされ気持ちが悪くなったので、その分のみマイナス
- ・ 医師と社労士さんとそれぞれからの話を聞いたこと
- ・ 医療者ではありませんが、障害年金は身近なものだと知り、良かったです。
- ・ 医療従事者の視点でみると患者に説明できるまでの知識に至らなかった。もう少し基本的な知識から詳しく知りたく、血液内科医の解説や講義があるとなお良かった。
- ・ 医療従事者向けのトピックも多かったが診断書と認定基準の相関関係など興味深い内容が多かったです
- ・ 可能な限り具体的に情報提供いただき、自分の知識になったので、患者さん対応時に役立てたい
- ・ 解釈が間違っている部分が幾つかあったと思いますが、障害年金は奥が深いので仕方ないような気がします…
- ・ 基礎的な確認が出来ました
- ・ 血液がんフォーラムなので仕方ないと思いましたが、社労士さんから障害年金について基本的な話も聞きたかったです。診断書の書き方も必要なんだと思いますが、そこまでの詳しい話はあまり…。
- ・ 血液、身体麻痺、高次脳機能障害があり、審査方法や診断書の書き方の参考になりました。
- ・ 血液疾患に関する障害年金のことについて詳しく聞いた
- ・ 時間が短い。手数料はどれ位かかるのか?
- ・ 社労士さんをお願いしなないとなかなか受給できないようです
- ・ 社労士さんの説明は専門的過ぎて難しかった
- ・ 社労士さんの話は、医師向けで診断書作成は一般には関係ないと思った。
- ・ 社労士を通さずに申請予定であったが通そうと思った。でも料金が幾らかかるか知りたかった。
- ・ 勝俣先生、宇代先生のお話を聞いて良かったです。もう少し聞きたかったので、満足に回答しました。
- ・ 勝俣先生のお話は、スライドもわかりやすく内容もすごく良かったです。宇代社労士さんはレジューメが手元になかったこともありますが、それ以上に申請書の書き方が中心でしたので、できればオリジナルスライドなどで、もう少し実際の事例でうまくいったケースやいかなかったケース、申請にあたりどのような苦労があったかなど体験談が聞けるともっとよかったです。
- ・ 勝俣先生の医師としてのお話がとても勉強になりました。
- ・ 少し難しかったです。
- ・ 障害者や病気を持つ人にとって、障害年金は生活をしていくうえで大事なことから。
- ・ 障害認定の診断書の真意など聞いた気がします。私の場合、今落ち着いた状態なので、もしも再発した

とき障害認定受けるには65歳までにとわかりやすかったです

- ・ 障害年金が、がん患者さんに適応になる事を、今日初めて知りました。
- ・ 障害年金についての認定基準、申請方法の理解と自分の状況について相談出来参考になった
- ・ 障害年金について全く知識がなく、聞いたこともなかった。今後提供できる情報として学びを深めたい。
- ・ 障害年金に関して詳細に聞ける機会もなく、独学にはハードルが高く非常に参考になりました。実際に患者さんに還元できる内容でした。
- ・ 障害年金は制度の概要だけではなく、個別性が高くとても難しいと感じているので、基本的な部分から事例をあげながら説明いただき、大変勉強になりました。
- ・ 申請をしてもダメな場合があるという事を知ったので。
- ・ 診断書の内容、書き方が具体的でわかりやすかった。パンフレットや、勝俣先生の著書の情報もいただけ、ありがとうございます。
- ・ 知っていた内容が多かった。
- ・ 途中からの参加だったが、質疑応答で参考になるところがあったため。
- ・ 途中から参加したため
- ・ 途中までしか聞けませんでした、血液の病気でも手続きが出来る事を知れて良かったです。
- ・ 年金って、縁のないものだと思っていたが、そうでもなさそう。
- ・ 年金の詳細について詳しく知ることができた
- ・ 普段疑問に思っているがなかなか聞けないことについて、解決につながった
- ・ 勉強になった。時間はたっぷりあったが、質問数が多く、やはり駆け足感は否めなかった、ZOOMでの質疑応答の難しさも感じた
- ・ 無料なのに分かりやすい解説をしてくれた。zoomの環境もよく聞き取りやすかった。
- ・ 理解が深まった人が多いと思います。

## 7. 今回のイベントをどこで知りましたか？（複数回答可）

	人数
CNJ（キャンサーネットジャパン）のホームページ	19
CNJ メールマガジン	21
CNJ 機関誌	3
CNJ の X (旧 Twitter)、Facebook 等の SNS	5
START TO BE ホームページ、X (旧 Twitter)、Facebook 等の SNS	5
登壇者からの情報	10
家族・友人に誘われて	3
病院等でのチラシ	38
プレスリリースや新聞など	2

## 8. 一つのテーマでじっくりと、質疑応答の時間も多く取りました。運営についてのご意見やご感想をお寄せください

- ・ 良かったです。(5)

- ・ 質疑応答は具体的で時間をかけてお答えいただき、大変参考になりました。(4)
- ・ 質疑応答の時間が多めで、とてもわかりやすくて良かったと感じました。(4)
- ・ とても有意義でした。(3)
- ・ 事前質問の受付や質疑応答は自分が気づかなかった視点があって非常に良かった。(2)
- ・ 限られた時間の中で、患者さんからのいろいろな質問やお話を聞くことができよかったです。
- ・ zoomのスタートは、スムーズで良かった。休憩時間は5分にしてその分、質疑応答を多くして欲しい。
- ・ ありがとうございます。
- ・ こういう機会がなかなかないので、必要だと思う。
- ・ この分野に関して学ぶ場所がないため、この機会は大変ありがたいです。
- ・ スムーズな進行で参加しやすかったです。質問もうまくまとまっていて無駄な時間がなく、先生たちとのキャッチボールが見事でした。
- ・ とてもスムーズな進行でした。
- ・ とてもよかったです！障害年金についての苦手意識が強く、稀に患者さんが相談に来られた時に落ち着いて対応できません。まだ1~2回しか相談も受けたことないのですが、初診日がとても難しくて…
- ・ とても詳しい内容だったと思います。このフォーラムをきっかけに、自分でも障害年金について調べてみようと思います。
- ・ なかなか、学ぶ機会のないテーマで、今日知ることができました。ありがとうございます。
- ・ もう少し短めの方が参加しやすいと思います
- ・ 一方的ではなく、実際現場や個人が何に困っているのか、どういう解決法があるかが学べて良かった。
- ・ 勤務の都合で質疑応答は聞けませんでした
- ・ 講演をいただいた先生方の資料を送付いただけるような配慮をいただき、大変ありがたいです。臨機応変な対応に感謝しています。
- ・ 講義と質疑応答のバランスがよかったと思います
- ・ 今回の例でいけば、成功例をたくさんいただきましたかった。
- ・ 参加当日の質問にも対応して頂けるのは大変ありがたいと感じました
- ・ 伺いたい質問が沢山あったので参考になりました。
- ・ 司会がうまくコーディネートしてくださったおかげで、最後まで安心して聞くことができました。障害年金については、肺がん経験者で社労士の方がいらっしゃいますので、そういう話慣れている人の方が患者としては聞いていて理解しやすいのではと感じました。質疑応答で出ていた他の年金との併給の話や勝俣先生が出されていた実際の事例とかの話をもう少し掘り下げて聞きたかったです。お忙しい中、企画から立案・実施をしてくださった皆様、ありがとうございます。障害年金の小冊子の完成を楽しみにしています。
- ・ 司会進行がスムーズで良かったです。
- ・ 資料の提供があると嬉しい
- ・ 時間に余裕があって良かったです
- ・ 質疑応答の時間が40分と長かったが、質問も多くとても有意義だった。参考になる質問と回答が多かった
- ・ 質疑応答を事前、リアルで取り上げて頂けるのは、とてもありがたいです！ありがとうございます！

- ・ 質問事項を精選して、回答者に提示することが望ましい。
- ・ 社労士と医師、両方から情報を得られる事はなかったので、素晴らしい取り組みをありがとうございました。
- ・ 社労士の先生の説明が非常に聞きづらかった。
- ・ 勝俣先生は話し方も上手でお人柄も伝わってきますが、医師が障害年金の説明をすることに違和感を感じました。医師の立場から困ったことや苦労する点のお話なら問題ないと思いますが…。
- ・ 障害年金はやはり複雑で、次から次へと疑問がわいてくる。司会をしてくださった方が障害年金にお詳しいのではないかという印象を抱いたので、講師の方との対話形式で深めてくださってもよかったのではと感じたが、テーマが難しく、質問内容の情報がかなり不足している中で極力質問をかみ砕きながら準備してくださった質疑応答であると感じた。
- ・ 進行もスムーズでとてもよかったです。司会者の方は今現在も障害年金受給されてるのかな、お元気そうなので復職されて、停止なのかなと思いながら聞いていました。
- ・ 大変分かりやすく、丁寧なセミナーを開催していただき、感謝でいっぱいです。
- ・ 司会者の取得等級を知りたい、病名が同じなのでもっと体験談や現在の病状（レジメン）や食生活の実態、気を付けていることなどいろいろ教えてほしいと思った。
- ・ 満足しています。

## 8. 今後取り上げてほしいテーマがあれば教えてください

- ・ 障害者ががんになったときの実際の入院生活や治療のことや、退院してからの療養のお話をお聞きしたいです。
- ・ 白血病と多発性骨髄腫を患っています ダブルがんサバイバーについて教えてほしい
- ・ 意思決定支援
- ・ 血液がん患者に伝えたい社会保障制度
- ・ 血液疾患の障害者手帳は現在認定がありませんが、そのような議論があるのかとか
- ・ 公的制度などについて、事例をまじえながら学べる機会があればと思います。
- ・ 抗がん剤による聴覚障害。抗がん剤の治療を始めて3か月後あたりからよく聞き返す、難聴。医師に同じ病院の耳鼻科を受診したいと希望するも近所の耳鼻科で関連があると言われたら当病院の耳鼻科で診るとのこと。骨髄腫で聴覚障害は関連ないのかどうか。同じ病院で受診できないという不満。
- ・ 抗がん剤の副作用と対応方法など
- ・ 今回のテーマをもう少し掘り下げて、もっと詳しく知りたいと思いました。
- ・ 次回と重複するかもしれませんが、血液がんは長く付き合う病気なので、年代毎の QOL を考えた decision making について、伺ってみたいです。
- ・ 治療と仕事の両立支援について(2)
- ・ 疾患別の血液データの管理法
- ・ 障害年金はもう一度して欲しいです。血液がんのものを使うと話もありましたが、恥ずかしながらそのことも知りませんでした…。
- ・ 職場復帰プランの作成に産業医と主治医が共同で会社へ提案できないか？
- ・ 精神障害との併合認定にかかるパターンの類型。

- ・ 造血幹細胞移植に関連する経済的なことについて
- ・ 多発性骨髄腫の薬について(知らない薬も多いので)
- ・ 大腸がん、乳がんなど罹患数が多いがん腫のお話も聞きたいと思います。
- ・ 妊孕性とか就労について
- ・ 白血病の再発及び再発時の治療と再発率を低減について
- ・ 晩期合併症
- ・ 病人本人が家族に対して気を付けること。他人がご家族ががんの方に対して気を付けること。私自身が患者で、多発性骨髄腫の告知は私一人で聞き、家族にはしばらくしてから打ち明けました。その時に気を付けることを検索しましたが、家族が本人に告知するときの注意はありましたが反対は無くて戸惑いました。
- ・ 訪問看護について(医療と介護どちらで入るか、病院からの持ち出しになるか、指示書依頼にあたり気をつけるポイントは等)
- ・ 膀胱がん